



令和2年度(第75回)文化庁芸術祭主催公演
新国立劇場 2020/2021 シーズンオペラ 開幕公演
ベンジャミン・ブリテン

夏の夜の夢

A Midsummer Night's Dream

新制作

ニューノーマル時代の新演出版

New Production in the time of "A New Normal"

2020年10月4日(日)~12日(月)

会場:新国立劇場オペラパレス 2020年9月19日(土)発売



マクヴィカー演出『夏の夜の夢』モネ劇場公演より

新国立劇場オペラ再開公演！英国が生んだ傑作喜劇『夏の夜の夢』を特別バージョンで。

2020年2月の『セビリアの理髪師』の後、約8カ月間、8演目の公演中止を経て、新国立劇場オペラ公演もいよいよ10月に再開の日を迎えます。再開公演『夏の夜の夢』は、デイヴィッド・マクヴィカーの原演出に基づき、新型コロナウイルス感染症対策を講じた“ニューノーマル時代の新演出版”公演として、ソーシャル・ディスタンスや飛沫感染予防に配慮した形に演出を変更して上演します。『夏の夜の夢』は、「20世紀オペラの中で最も華やかで心の底から楽しめる作品をシーズン開幕に」という、大野和士芸術監督のチョイス。シェイクスピアのお馴染みの喜劇が英国の作曲家ブリテンの多彩で幻想的な音楽で展開し、ボーイ・ソプラノによる妖精たちや、カウンターテナーの妖精の王オーベロンの音楽は特に印象的です。モネ劇場で初演されたマクヴィカー演出のプロダクションは、世界的デザイナーのレイ・スミスが美術・衣裳を手がけ、巨大な屋根裏部屋を舞台に、神秘的な闇の中で次々に起こる男女の応酬を現代的なタッチで描いたものです。

妖精たち、恋人たち、職人たちと3つの世界が交錯し多数のソリストを必要とする『夏の夜の夢』に、選りすぐりの歌手陣が集まります。オーベロンには日本が生んだカウンターテナーの逸材・藤木大地が出演。現代音楽で名を馳せるシェシュティン・アヴェモラフレッシュな歌手陣が訪日を心待ちにしています。指揮には飯森範親が登場します。

※招聘キャストにつきましては、日本への出入国制限の状況により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

<資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ>

新国立劇場 制作部オペラ 広報担当 高梨木綿子

Tel:03-5352-5733/Fax:03-5352-5709/E-Mail: takanashi_y2525@nntt.jac.go.jp

8ヶ月ぶりの新国立劇場オペラ公演！『夏の夜の夢』を特別バージョンで。

2020年2月の『セビリアの理髪師』の後、新型コロナウイルスの拡大により約8カ月間、全8演目の公演中止を経て、新国立劇場オペラ公演もいよいよ10月、2020/2021シーズン開幕と共に再開の日を迎えます。大人数の出演者を要し、演出の条件下で歌唱と演技を行うオペラという分野は、密集・密接・密閉を回避する必要がある新型コロナウイルス流行下では容易に上演できるものではなく、新国立劇場においても、各種検証を踏まえ、上演の道を探ってきました。再開公演『夏の夜の夢』は、デイヴィッド・マクヴィカーの原演出に基づき、感染症対策を講じた“ニューノーマル時代の新演出”公演。マクヴィカー演出を熟知する演出家レア・ハウスマンが、オリジナル演出の舞台装置・衣裳を使用し、ソーシャル・ディスタンスや飛沫感染予防に配慮した形で新たな舞台を創出します。

幻想的な一夜の恋物語。シェイクスピアの傑作喜劇をオペラで！



『夏の夜の夢』は、大野和士芸術監督が注力する柱の中のひとつ、20世紀の名作オペラから、「シーズン開幕に、20世紀オペラでも最も華やかで心から楽しめる作品を」とのチョイス。妖精の気まぐれで起こる大騒動を描いたシェイクスピアお馴染みの傑作喜劇が、ブリテンの多彩な音楽で展開する『夏の夜の夢』は、英国の叡智が結晶となった傑作オペラです。ブリテンはシェイクスピアの戯曲のテキストはそのままに、約半分に圧縮してオペラを構成。動機や和声によるドラマ進行に長けたブリテンならではの手法で、妖精、恋人達、職人達の3つの世界が鮮やかに展開します。親しみやすい多彩で幻想的な音楽が聴衆を魅了し、ボーイ・ソプラノによる妖精たちのアンサンブルや、カウンターテナーの妖精の王オーベロンは、観客を一気に幻想的な世界へ引き込む、特に印象的な存在です。

レイ・スミスによる現代的タッチ、神秘的な舞台

マクヴィカー演出のプロダクションは2004年のクリスマスシーズンにベルギーのモネ劇場で初演されたもので、『夏の夜の夢』の奔放な男女の機微を現代的なタッチで描いたもの。古びた玩具や調度品が散在するカントリーハウスの屋根裏を登場させた美術・衣裳はレイ・スミスのデザイン。レイ・スミスはヨーロッパ各地で演劇やミュージカル、オペラのデザインを手がけ、オリヴィエ賞、オービー賞、サウスバンク・アワードなどの受賞歴を誇る女性デザイナーで、世界的話題作『War Horse』ではトニー賞を受賞、新国立劇場では同じブリテン作曲のバレエ『パゴダの王子』で奇想天外な大ファンタジーを創出し舞台ファンをあっという間に驚かせました。この『夏の夜の夢』も、幻想的な森と妖精たちの魔法の世界という劇中の世界観はもちろん、舞台ならではの遊び心や、美しい中に毒もあるレイ・スミス独特のセンスに満ち、舞台やデザインに興味のある人をたちまち虜にしてしまう魅力が詰まっています。薄暗い屋根裏、月の光、森と、誰も幼い日に怖れを感じたであろう情景は、人間と自然の神秘的な側面に光を当て、観客の心の扉を開いていきます。



写真：マクヴィカー演出『夏の夜の夢』モネ劇場公演より

アヴェモ、藤木大地ら、実力派歌手が勢揃い

妖精たち、恋人たち、職人たちと3つの世界が次々交錯する『夏の夜の夢』。大勢の歌手のアンサンブルが求められるこの作品に、世界から選りすぐりの歌手陣が集まります。何と言っても注目は、妖精の王オーベロンに登場するカウンターテナーの逸材・藤木大地。新国立劇場オペラ研修所で学んだ後、カウンターテナーとしてウィーン国立歌劇場をはじめ世界で活躍中の藤木大地が、シーズン開幕公演の要の役に登場、17年ぶりの新国立劇場オペラパレスの舞台へ立ちます。藤木との共演を重ねている大野和士芸術監督も「私達のヒーロー、日本が誇るカウンターテナー」と太鼓判。今や日本のクラシック音楽界最注目アーティストである藤木大地のオーベロンは見逃せません。



藤木大地

ティターニア役のシェシュティン・アヴェモは現代音楽でも名を馳せるスウェーデンのソプラノ。アテネの恋人たち4人は、ウェブ、オクリッチ、グーラ、ウィルソンと英語圏の若手歌手たち。ティターニアが夢中になるロバ男に変身する職人ボトムは、この役を大の得意とするヘンリー・ワディントン。ボトムの職人仲間には妻屋秀和、村上公太、志村文彦、青地英幸、吉川健一と日本の実力派男声陣が集結。爆笑もののアンサンブルにご期待ください。

指揮にはマーティン・ブラビンスに代わり、国内外でエネルギッシュに活躍する飯森範親が登場します。

* 2020年秋、新国立劇場では、オペラ、舞踊(ダンス)、演劇の3部門でシェイクスピア関連作品を上演！

【ダンス】 中村恵恩×首藤康之×新国立劇場バレエ団『Shakespeare THE SONNETS』11月28日(土)・29日(日)中劇場

【演劇】 『リチャードⅡ世』10月2日(金)～10月25日(金)中劇場

＜「夏の夜の夢」あらすじ＞

【第1幕】妖精の王オーベロンとティターニアは小姓をめぐる夫婦げんか中。オーベロンは惚れ薬の力でティターニアを出し抜こうと、バックに薬草を採ってくるよう命じる。その汁を喉に塗れば、目覚めて最初に見た者に恋焦がれるという薬草だ。舞台にはアテネの若者ライサンダーとハーミアが登場。ハーミアはディミートリアスとの結婚を命じられ、駆け落ちしようとしているのだ。ディミートリアスがヘレナに追い回されている光景も目にして、オーベロンは恋人たちをまとめようと思いつき、薬草を使ってディミートリアスをヘレナに惚れさせるとバックに命じる。アテネの職人たちは、シーシアス公の御前で演じる芝居の準備をしている。バックが誤ってライサンダーの目に薬を垂らしたので、目覚めたライサンダーは通りがかりのヘレナに恋してしまう。一方オーベロンはティターニアの喉に薬を垂らす。

【第2幕】職人たちは芝居の稽古中。ボトムが稽古の輪を離れると、バックがボトムの頭をロバの頭に変えてしまう。職人たちは怪物に驚き、逃げ回る。傍らで目を覚ましたティターニアは、ロバ頭のボトムに夢中になる。ライサンダーに捨てられたハーミア、恋敵のライサンダーとディミートリアス、突如2人から求愛され怒るヘレナ、4人の若者たちはけんかになり、バックは事態を収拾しようと、4人を眠りにつかせる。

【第3幕】朝、目覚めた若者たちは、ライサンダーとハーミア、ディミートリアスとヘレナという2組のカップルに落ち着き、シーシアス公に結婚の許しを請う。ボトムも元の姿に戻り、職人たちはシーシアスとヒポリタの結婚式で「ピラマ스와シスビー」の芝居を上演する。オーベロンとティターニアも恋人たちを祝福する。

＜プロフィール＞

【指揮】飯森範親

IIMORI Norichika

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーで絶賛される。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞。海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、ブラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴュルテンベルク・フィルの音楽総監督(GMD)に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。東京交響楽団特別客演指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、ヴュルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者。2014年シーズンから日本センチュリー交響楽団首席指揮者、2007年山形交響楽団音楽監督、2019年シーズンより同楽団芸術総監督に就任。2020年1月より東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、同年4月より中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者に就任。新国立劇場では『鹿鳴館』、高校生のためのオペラ鑑賞教室『蝶々夫人』を指揮している。オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>



【演出】レア・ハウスマン

Leah HAUSMAN

振付家、ムーヴメント・ディレクター、演出補として欧米で活躍。テリー・ギリアム、デイヴィッド・マクヴィカー、サイモン・マクバーニー、モーシェ・レイザ、パトリック・コリエらの演出作品で振付、ムーヴメント、演出補を担当、英国ロイヤルオペラ『アイダ』『フィガロの結婚』『魔笛』『エレクトラ』、エクサンプロヴァンス音楽祭『皇帝ティトの慈悲』、メトロポリタン歌劇場『ノルマ』『トスカ』『ロベルト・デヴェリユー』などに参加している。最近手がけた作品に、シャンゼリゼ劇場『ロベルト・デヴェリユー』、ロサンゼルス交響楽団『ワイマール共和国』プログラム、英国ロイヤルオペラ『ヴェニスに死す』、モスクワ・ストラヴィンスキー音楽劇場、エクサンプロヴァンス音楽祭、オランダ国立オペラ『放蕩児のなりゆき』など。欧米各地の歌劇場で再演演出を数多く手がけており、ロイヤル・シェイクスピア・カンパニー、ナショナル・シアターなど演劇公演での活躍も多い。新国立劇場初登場。



【オーベロン】藤木大地

FUJIKI Daichi

東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所第5期修了。文化庁派遣芸術家在外研修でボローニャに留学後、ウィーンに拠点を置き、ウィーン国立音楽大学大学院で文化経営学を専攻。2011年、ローマ国際音楽コンクールファイナリスト。12年、第31回国際ハンス・ガボア・ベルヴェデーレ声楽コンクールにてオーストリア代表に2年連続で選出、世界大会ファイナリストとなり、ハンス・ガボア賞を受賞。同年、日本音楽コンクール第1位。13年5月、ボローニャ歌劇場にてグルック『クレーリアの勝利』マンニオ役でヨーロッパ・デビュー。翌月同劇場にパッティステッリ『イタリア式離婚狂想曲』カルメロ役で出演、国際的に高い評価を得る。17年4月にライマン『メデア』ヘロルド役でウィーン国立歌劇場にデビュー。東洋人のカウンターテナーとして史上初の快挙で、現地の聴衆から熱狂的に迎えられた。国内では主要オーケストラとの共演や各地でのリサイタルで活躍しており、村上春樹原作の映画『ハナレイ・ベイ』主題歌も担当。18年10月にはメジャー・デビュー・アルバム『愛のよこひばり』をリリース。パロックからコンテンポラリーまで幅広いレパートリーで活躍している。19年にはサントリーサマーフェスティバル『リトゥン・オン・スキン』に出演。2020年2月には企画原案・主演を務めた新作歌劇『400歳のカストラート』が大成功を収めるなど、プロデューサーとしての仕事ぶりにも定評がある。新国立劇場へはオペラ研修所在籍中の03年『フィガロの結婚』ドン・クルツィオに出演して以来の登場。



【ティターニア】シェシュティン・アヴェモ

Kerstin AVEMO

スウェーデン出身。イエーテボリ歌劇場の『ルル』『ルチア』『オルフェオとエウリディーチェ』のタイトルロール、『椿姫』ヴィオレッタなどの出演をはじめ、スウェーデン王立歌劇場、デンマーク王立歌劇場、モネ劇場、エクサンプロヴァンス音楽祭、フランクフルト歌劇場、チューリヒ歌劇場、ジュネーヴ大劇場などで『後宮からの逃走』ブロンデ、『仮面舞踏会』オスカル、『リゴレット』ジルダ、『椿姫』ヴィオレッタ、『ばらの騎士』ゾフィーなどに出演。現代作品にも数多く取り組み、細川俊夫『班女』『二人静』海から来た少女』初演にも出演している。最近では、ブレゲンツ音楽祭『ホフマン物語』オランピア、テアトロ・レアル、モネ劇場、ウィーン祝祭週間『コジ・ファン・トゥッテ』デスビーナ、モネ劇場、ポーランド国立歌劇場『パウダー・ハー・フェイス』(アデス作曲)メイド、ストックホルム王立歌劇場『ペレアスとメリザンド』メリザンド、『魔笛』夜の女王、デンマーク王立歌劇場『皆殺しの天使』レティシア、スウェーデン王立歌劇場『Tristessa』世界初演、イエーテボリ歌劇場『ジュリエッタ』(マルティヌー作曲)タイトルロール、『人間の声』、『ラ・ボエム』ミミ、ジュネーヴ大劇場『仮面舞踏会』オスカルに出演。新



国立劇場初登場。

【バック】デイヴィッド・グリーヴス

David GREEVES

ムーヴメント・ディレクター、武術及びフライングの振付家。ロンドンのコンテンポラリーダンススクール、ザ・ブレイスで学び、コンテンポラリー・サーカスや劇団の活動に参加。強固な身体性と武術に基づいたムーヴメントとを融合させている。ムエタイ、太極拳、気功、抜刀道、楊式太極拳を実践し、舞台芸術のムーヴメント・トレーニングと振付に生かす。「Yskynna Vertical Dance Company」芸術監督であり、公共空間や美術館、ドックヤード、高層建築などでのフライングを駆使したパフォーマンスで知られる。デイヴィッド・マクヴィカー演出作品には、1998年のフランダース・オペラ『イドメネオ』以来、英国ロイヤルオペラ『魔笛』『アイダ』『トロイ人』、2011年のストラブール・ラン歌劇場『神々の黄昏』および「ニーベルングの指環」四部作、グラインドボーン音楽祭ツアー公演『ラ・ボエーム』、モネ劇場『夏の夜の夢』、エクサンプロヴァンス音楽祭、マルセイユ歌劇場、トゥールーズ・キャピトル劇場、シカゴ・リリック・オペラ、バルセロナ・リセウ大劇場『皇帝ティの慈悲』、サンフランシスコ・オペラ『トロイ人』、バレンシア・ソフィア王妃芸術宮殿及びノルウェー国立オペラ『アイダ』に参加。新国立劇場初登場。



【ライサンダー】デイヴィッド・ウェブ

David WEBB

イギリス出身。王立音楽大学インターナショナルオペラスクールに学ぶ。イングリッシュ・ナショナル・オペラのヘアウッド・アーティストとして、『夏の夜の夢』ライサンダー、『ペンザンスの海賊』(サリヴァン作曲)フレデリック、『トリスタンとイゾルデ』若い船乗り、『魔笛』僧侶1・武士1などに出演。ほかに、ザルツブルク音楽祭『ボッペアの戴冠』リベルトほか、グラインドボーン音楽祭『ヒペルメストラ』(カヴァッリ作曲)アルサーチェ、『ナクソス島のアリアドネ』ブリゲッラ、また同音楽祭のツアーではバリー・コスキー演出のヘンデル『サウル』に高僧・アブナーほかで出演している。コンサートではバッハの『クリスマス・オラトリオ』『マタイ受難曲』『ヨハネ受難曲』、ブリテン『戦争レクイエム』、ヘンデル『メサイア』など宗教曲を中心に、ロイヤル・ノーザン・シンフォニア、ミルウォーキー交響楽団、BBCスコティッシュ交響楽団などと共演している。新国立劇場初登場。



【ディミートリアス】ダニエル・オクリッチ

Daniel OKULITCH

カナダ出身。バズ・ラーマン演出『ラ・ボエーム』初演のショナールで注目を集める。モーツァルト、特に『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵とフィガロでニューヨーク・シティ・オペラ、プエノス・アイレス・コロソ劇場、ロサンゼルス・オペラ、サンタフェ・オペラ、パームビーチ・オペラ、バンクーバー・オペラなどに出演を重ねる。現代作品も得意で、マドリッド・テアトロ・レアルで『ブローックバック・マウンテン』(ウォリネン作曲)イニス、シャトレ座、ロサンゼルス・オペラ『ザ・フライ』(ハワード・ショア作曲)セス・ブランドル、セントルイス・オペラ『ゴールデン・チケット』(アッシュ作曲)ウィリーなどにも出演。最近では、イングリッシュ・ナショナル・オペラ『マーニー』(ミューリー作曲)世界初演のマーク、ニューヨーク・シティ・オペラ『ブローックバック・マウンテン』イニス、モントリオール・オペラとフォートワース・オペラで『JFK』(リトル作曲)リンドン・ジョンソン、サンタフェ・オペラ『ドクター・アトミック』グローブス將軍、マニトバ・オペラ『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、カルガリー・オペラ『エベレスト』ベックなどに出演した。19/20シーズンはミシガン・オペラ『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロール、モントリオール・オペラ『リトゥン・オン・スキン』プロテクターに出演。新国立劇場初登場。



【ハーミア】タマラ・グーラ

Tamara GURA

アメリカ出身。チューリヒ歌劇場オペラスタジオを経て、ハンブルク州立歌劇場で『ジュリオ・チェーザレ』セスト、『イタリアのトルコ人』ザイダ、『スペードの女王』ポリーナ、『ボッペアの戴冠』アモレなどに、バーデン州立歌劇場専属歌手として『イドメネオ』イダマンテ、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『セビリアの理髪師』ロジーナなどに出演。カールスルーエ・ヘンデル音楽祭『ラダミスト』タイトルロールなどバロック作品で評価され、バロック、モーツァルト、ベルカントから現代作品と広いレパートリーを持つ。ザルツブルク州立劇場、ザクセン州立歌劇場、イングリッシュ・ナショナル・オペラ、ローマ歌劇場、エッセン・アールト劇場などで『チェネレントラ』『アリオダンテ』のタイトルロール、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『こうもり』オルロフスキー公爵、『ホフマン物語』ニクラウス、『夏の夜の夢』ハーミア、『オルフェオとエウリディーチェ』オルフェオ、『カルメン』タイトルロールなどに出演。最近の出演に、ヘッセン州立劇場『ノルマ』アダルジーザ、ベルン州立劇場『アルチャーナ』ブラダマンテ、ハイデンハイム・フェスティバル『スペードの女王』ポリーナなどがある。新国立劇場初登場。



【ヘレナ】ヴァルダ・ウィルソン

Valda WILSON

オーストラリア出身。シドニー音楽院で学び、数々の賞や奨学金を獲得してロンドンのオペラスタジオで研鑽を積む。ザクセン州立歌劇場若手専属歌手のメンバーとなった後、ザルツブルク音楽祭、ヴェルビエ音楽祭の若手歌手プログラムにも参加。オルデンブルク歌劇場専属歌手を経て、17/18シーズンよりザールブリュッケン歌劇場専属歌手。これまでに、ザルツブルク音楽祭『子供のための魔笛』パミーナ、ナポリ・サン・カルロ歌劇場『ルサルカ』、ヴェルビエ音楽祭『セビリアの理髪師』ロジーナ、ザクセン州立歌劇場『魔笛』パミーナとパパゲーナ、ザルツブルク音楽祭『カルミナ・ブラーナ』、オルデンブルク歌劇場『ファルスタッフ』アリーチェ、『フィガロの結婚』伯爵夫人、『メリー・ウィドウ』ハンナ・グラヴァリ、『夏の夜の夢』ヘレナなどに出演している。ザールブリュッケン歌劇場では『ラ・ボエーム』ムゼッタ、『ソラリス』ハリー、『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、『椿姫』ヴィオレッタ、『ファウスト』マルグリート、『ばらの騎士』元帥夫人、『フィガロの結婚』伯爵夫人、『ファウスト』マルグリート、『メリー・ウィドウ』ハンナ・グラヴァリ、『ドン・カルロ』エリザベッタなどに出演している。新国立劇場初登場。



【ボトム】ヘンリー・ワディントン**Henry WADDINGTON**

イギリス・ケント生まれ。王立ノーザン音楽大学で学び、『夏の夜の夢』ボトムでデビュー。グラインドボーン音楽祭で『夏の夜の夢』クインス、『フィデリオ』ドン・フェルナンドなどに、ツアー公演の『ラ・ボエーム』コッリーネ、『チェネレントラ』ドン・マニフィコ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドン・アルフォンソなどに出演を重ねる。英国ロイヤルオペラ、オペラ・ノース、イングリッシュ・ナショナル・オペラなどイギリスのあらゆるオペラカンパニーに、『フィガロの結婚』バルトロ、『セビリアの理髪師』バジリオ、『ラ・ボエーム』コッリーネ、『オテロ』ロドヴィーコなどで定期的に出演。また『夏の夜の夢』でリセウ大劇場とマドリッド・テアトロ・レアルに、『ビリー・バッド』でオランダ国立オペラに出演したほか、モネ劇場、シュトゥットガルト州立劇場などにも出演。最近の主な出演に、ベルリン州立歌劇場『ヤーコブ・レンツ』牧師オーベルリン、オランダ国立オペラ『イエヌーファ』粉屋の親方、ガーシントン・オペラ『ファルスタッフ』タイトルロール、ノルウェー国立オペラ『ばらの騎士』オックス男爵、ウェルシュ・ナショナル・オペラ『フィガロの結婚』バルトロなどがある。新国立劇場初登場。

**【クインス】妻屋秀和****TSUMAYA Hidekazu**

東京藝術大学卒業、同大学大学院オペラ科修了。94～01年ライブツィヒ歌劇場、02～11年ワイマールのドイツ国民劇場専属。これまでにベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン州立歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ、スコティッシュ・オペラなどに出演。新国立劇場では『ドン・カルロ』宗教裁判長、『マノン・レスコー』ジェロント、『ラインの黄金』ファールツルト、『ファルスタッフ』ピストーラ、『魔笛』ザラストロ、『ローエングリン』ブラバントの貴族IV、『セビリアの理髪師』ドン・バジリオ、『カルメン』スニガ、『ルチア』ライモンド、『オテロ』ロドヴィーコ、『アイダ』ランフィス、『フィデリオ』ロッコ、『タンホイザー』領主ヘルマン、『ドン・ジョヴァンニ』騎士長、『トゥーランドット』ティムールなど多数出演。二期会会員。

**【フルート】村上公太****MURAKAMI Kota**

東京音楽大学声楽演奏家コース卒業。新国立劇場オペラ研修所第6期修了。文化庁在外派遣研修員としてイタリア・ボローニャへ留学。ジュゼッペ・ディ・ステファノ国際コンクールにおいて『リゴレット』マントヴァ公爵役を獲得。近年ではシンガポール・リリック・オペラに立て続けに客演し、現地に於いて好評を博す。新国立劇場では『パルジファル』第1の聖杯騎士、『こうもり』アルフレード、『ばらの騎士』ファーニナル家の執事、『ウェルテル』シュミット、『カルメン』レメンダード、『ファルスタッフ』フェントンに出演、特に『こうもり』アルフレードは2回連続で出演し高い評価を得た。二期会会員。

**【スナッグ】志村文彦****SHIMURA Fumihiko**

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。第27回日伊コンクール第1位入賞など受賞多数。二期会『ドン・ジョヴァンニ』騎士長でデビュー以来、『コジ・ファン・トゥッテ』『チェネレントラ』『ワルキューレ』『ファルスタッフ』『メリー・ウイドウ』などに出演。新国立劇場では『魔笛』『サロメ』『ナクソス島のアリアドネ』『椿姫』『蝶々夫人』『ニュルンベルクのマイスタージンガー』『愛怨』『フィガロの結婚』『トスカ』『夜叉ヶ池』『イエヌーファ』『ジークフリート』ハイライトコンサートなどに出演。二期会会員。

**【スナウト】青地英幸****AOCHI Hideyuki**

武蔵野音楽大学卒業、同大学大学院修了。これまでに『魔笛』タミーノ、ロシーニ『オテロ』ロドリゴ、『ロメオとジュリエット』ロメオ、『ラ・ボエーム』ロドルフォ、『カルメン』ドン・ホセなどを演じている。宗教曲ソリストとしても活躍。新国立劇場では『おさん』『ホフマン物語』『ばらの騎士』『ムツェンスク郡のマクベス夫人』『ヴォツェック』『サロメ』『ファルスタッフ』『ジークフリート』ハイライトコンサート(ミーメ役)、小劇場オペラ『友人フリッツ』『セルセ』に出演。東京オペラ・ブロードキャスト・メンバー。東京オペラ・インスティテュート講師。

**【スターヴリング】吉川健一****YOSHIKAWA Kenichi**

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。二期会オペラ研修所プロフェッショナルコース第6期修了。第20回奏楽堂日本歌曲コンクール第3位、トルトーナ国際音楽コンクール第3位。二期会『魔笛』、日生劇場『夕鶴』『利口な女狐の物語』、札幌『ピーター・グライムズ』などに出演。新国立劇場では『沈黙』通辞、『ピーター・グライムズ』ネッド・キーン、『夕鶴』運ず、『蝶々夫人』ヤマドリ、『カルメン』モラレス、『ジャンニ・スキッキ』マルコ、演奏会形式『コジ・ファン・トゥッテ』グリエルモ、鑑賞教室・関西公演『魔笛』パパゲーノなどに出演。二期会会員。



新国立劇場 2020/2021シーズン 令和2年度(第75回)文化庁芸術祭主催公演

夏の夜の夢

新制作・ニューノーマル時代の新演出版

Benjamin BRITTEN / A Midsummer Night's Dream

New Production in the time of 'A New Normal'

全3幕<英語上演/日本語及び英語字幕付>

【公演日程】2020年10月4日(日)14:00/6日(火)14:00/8日(木)18:30/10日(土)14:00/12日(月)14:00

【会場】新国立劇場 オペラパレス

【チケット料金】S:22,000円・A:16,500円・B:11,000円・C:6,600円・D:3,300円・Z:1,650円

【前売開始】9月19日(土)

※チケット料金、チケット発売日は当初発表から変更となりました。

※指揮を予定していたマーティン・ブラビンスは降板の申し出があったため、代わって飯森範親が指揮をいたします。

※招聘キャストにつきましては、出入国制限の状況により変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

指揮 飯森範親

Conductor IIMORI Norichika

演出・ムーヴメント レア・ハウスマン

デイヴィッド・マクヴィカーの演出に基づく

Stage Director and Movement Leah HAUSMAN

Based on the production of David McVicar

美術・衣裳 レイ・スミス

Set and Costume Design Rae SMITH

美術・衣裳補 ウィリアム・フリッカー

Associate Set and Costume Design William FRICKER

照明 ベン・ピッカースギル

ポール・コンスタブルによるオリジナルデザインに基づく

Lighting Design Ben PICKERSGILL

Based on the original designs by Paule CONSTABLE

舞台監督 高橋尚史

Stage Manager TAKAHASHI Naohito

オーベロン 藤木大地

Oberon FUJIKI Daichi

ティターニア シェシュティン・アヴェモ

Tytania Kerstin AVEMO

パック デイヴィッド・グリーヴス

Puck David GREEVES

シーシアス 大塚博章

Theseus OTSUKA Hiroaki

ヒポリタ 小林由佳

Hippolyta KOBAYASHI Yuka

ライサンダー デイヴィッド・ウェブ

Lysander David WEBB

デミートリアス ダニエル・オクリッチ

Demetrius Daniel OKULITCH

ハーミア タマラ・ゲラ

Hermia Tamara GURA

ヘレナ ヴァルダ・ウィルソン

Helena Valda WILSON

ボトム ヘンリー・ワディントン

Bottom Henry WADDINGTON

クインス 妻屋秀和

Quince TSUMAYA Hidekazu

フルート 村上公太

Flute MURAKAMI Kota

スナッグ 志村文彦

Snug SHIMURA Fumihiko

スナウト 青地英幸

Snout AOCHI Hideyuki

スターヴリング 吉川健一

Starveling YOSHIKAWA Kenichi

児童合唱 TOKYO FM 少年合唱団

Children Chorus TOKYO FM Boys Choir

管弦楽 東京フィルハーモニー交響楽団

Orchestra Tokyo Philharmonic Orchestra

芸術監督 大野和士

Artistic Director ONO Kazushi

Original Production of La Monnaie – De Munt in Brussels

公演情報 WEB サイト <https://www.nntt.jac.go.jp/opera/a-midsummer-nights-dream/>

【チケットのご予約・お問い合わせ】新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00~18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【チケット取り扱い】チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット

- * Z席 1,650 円:公演当日朝 10 時より、新国立劇場 Web ボックスオフィスほかで販売。1人1枚。電話予約不可。
- * 当日学生割引(50%)、ジュニア割引(小中学生 20%)、高齢者割引、障害者割引、学生割引(5%)など各種割引あり。
- * 未就学児入場不可。

* 本公演は、新型コロナウイルス感染予防、拡散防止対策をとって上演いたします。

座席は間隔をあけて販売します。お連れ様同士でも感覚をあけて着席いただきます。その他チケットのお求めの詳細は上記ウェブサイトをご参照ください。

* 新国立劇場における新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと主催公演ご来場の皆様へのお願い

https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html

* 本公演は、モネ劇場で上演された『夏の夜の夢』に基づき上演されます。公演告知の際にはモネ劇場公演写真がご使用いただけます。



【1】



【2】

クレジット:マクヴィカー演出『夏の夜の夢』モネ劇場公演より